

事業所名		&YOU武蔵関		支援プログラム（参考様式）		作成日		2026	年	6	月	16	日
法人（事業所）理念		重症心身障害児一人ひとりの健康状態、発達段階、生活背景を尊重し、安心して過ごせる環境の中で、医療的ケア・療育・生活支援を一体的に提供する。家庭や地域と連携し、本人の「できた」「伝わった」「楽しい」を増やす。											
支援方針		看護師・機能訓練担当職員・保育士・児童指導員等が連携し、健康管理を土台に、姿勢保持、感覚刺激、コミュニケーション、日常生活動作、社会参加の経験を総合的に支援する。											
営業時間		10	時	0	分	から	17	時	30	分	まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	来所時の体調確認、バイタルチェック、表情・呼吸状態・筋緊張・疲労の観察を行う。 主治医の指示や保護者からの情報に基づき、医療的ケア、服薬確認、排泄、更衣、食事・水分摂取、休息を支援する。											
	運動・感覚	姿勢保持、ポジショニング、関節可動域訓練、ストレッチ、リラクゼーション、粗大運動、手指操作、視覚・聴覚・触覚・前庭感覚などへの感覚刺激を取り入れ、活動へ参加しやすい姿勢を整える。											
	認知・行動	光・音・手触り・温度・揺れなどの刺激を通して、見る、聞く、触れる、選ぶ、期待する経験を積み重ねる。 活動の始まりと終わりを分かりやすく伝え、見通しを持てる環境を整える。											
	言語 コミュニケーション	表情、視線、発声、身体の動き、手の動き、スイッチ、絵カード、写真、実物提示など、本人に合った方法で意思表示を引き出す。 快・不快、要求、拒否、選択が周囲に伝わる経験を増やす。											
	人間関係 社会性	職員や友だちとの関わりの中で、あいさつ、順番、共同活動、季節行事、集団遊びへの参加を支援する。 本人のペースを尊重し、周囲の人と一緒に過ごす安心感や楽しさを育てる。											
家族支援		連絡帳・送迎時・面談等を通じて、健康状態、医療的ケア、家庭での困りごと、成長の様子を共有する。 家族の負担感に配慮し、家庭で取り入れやすい姿勢・遊び・関わり方を一緒に考える。					移行支援		保育所、幼稚園、学校、相談支援事業所、医療機関等と情報共有し、就園・就学・進級・進路変更時に必要な支援内容を整理する。 健康面や移動、食事、コミュニケーション方法が次の環境へ引き継がれるよう支援する。				
地域支援・地域連携		主治医、訪問看護、相談支援専門員、学校、行政、地域の福祉サービス事業所等と連携し、支援方針や緊急時対応を共有する。 必要に応じてサービス担当者会議へ参加し、地域で安心して生活できる体制づくりを行う。					職員の質の向上		重症心身障害児支援、医療的ケア、感染症対策、虐待防止、身体拘束適正化、救急対応、摂食・嚥下、ポジショニング、コミュニケーション支援等の研修を実施し、ケース会議や記録の振り返りで質を高める。				
主な行事等		6/16/2026											